

広島こそだて未来会議2019

みんなであつくり
未来の学校

開催レポート

基本情報

開催名	広島こそだて未来会議2019 みんなでつくる未来の学校
主催者	広島こそだて未来会議実行委員会
後援者	広島市／広島市教育委員会／公益財団法人ひろしまこども夢財団
協賛者	株式会社和広商会／沢辺税理士事務所／リーフラス株式会社／キャリアコンサルタント 木村朱美／アタッチメント広島／KenKen接骨院／mitte宇品
開催日	2019年11月20日(水) 午前10時20分～午後12時30分
会場	イベントホールmitte 広島市南区宇品西2丁目16-51 ベイシティ宇品内
参加者数	定員100席 当日来場者数・・・一般席80名＋ベビーカー持ち込み席15席＋キッズエリア(立ち見含む)20名＝115名
参加費	無料
開催概要	学校・教育・授業をテーマに「もっとこうしたい！」という提案をもつ4名がプレゼン形式で発表。「自分たちの望む子育て環境の実現」や「未来の社会」を考えていきっかけづくりを目的とし、一般の母親・父親をはじめとした先進的な取り組みに興味がある方々にご観覧いただいた。

主催者について

広島こそだて未来会議とは

子どもたちの未来を今よりもっと明るくするため、個人・団体・企業・行政の枠を超えた大人全員で社会に望まれる先進的な子育て環境について考えていくプロジェクトです。

「わたしたちの子育て環境や子どもたちの未来が、今よりもっともっと良くなって欲しい！」「みんなで協力してみんなで考えていけば、たくさんの方がもっとスムーズに運ぶかもしれない！」誰よりも愛しいと思える我が子を育てていくひとりの親として、そんな願いを持って取り組みます。

また、「広島こそだて未来会議」はプロジェクトに取り組む市民団体の名称でもあります。広島県広島市を拠点とし、子育て支援に関心のある有志のメンバーで運営しています。年に一度解散し、運営メンバーの入れ替わりを繰り返しながら活動しています。

沿革

2018年04月01日

任意団体「広島こそだて未来会議」発足

2018年11月20日

「広島こそだて未来会議2018」開催

2019年02月01日

第2期発足(01月31日第1期解散)

2019年03月01日

「まほうのシール」取り組みスタート

2019年11月20日

「広島こそだて未来会議2019 みんなでつくる未来の学校」開催

プレゼンター(発表者)4名の紹介

“固定”しない学校のかたち



presenter
大野夫妻

私たちの子どもが就学したとき、共働きで小学校とうまく付き合うにはどうしたらいいのか、2人でよく話をしています。そうしていると、学校という場所が「効率よく子どもとその保護者を管理すること」に重きを置いているように見えてきて...そして、そのやりかたは、昭和のライフスタイル(父親は仕事、母親は専業主婦、国民全体がほぼ均一の価値観)だからうまくいっていただけなのでは...という疑問を抱くようになりました。個々のライフスタイルや価値観は変わっていているのに、学校のかたちが今まで通りでいいとは思えません。学校に関する今まで当たり前だと思っていたことを取り去ることで、学校教育がこう変わっていけばいいな、を夫婦で提案します。

PTAは学校、地域、保護者、子どもたちを救う



presenter
片元 彰

PTA不要論が盛り上がることもありますが、私はそうは考えません。PTAはあっていい。でも変わるべき部分は変わらなければなりません。この組織を上手く使うことで先生の働き方をはじめとした学校現場の様々な課題解決、ひいては子どもたちの成長にも好影響を与えることが出来るはずで

2歳前後から始まるイヤイヤ期へのネガティブなイメージを新常識に!



presenter
しあわせなおかあさん塾
塾長 青山節美

2020年からスタートする新しい教育では、主体的に問題を解決していく力が求められています。このチカラは実は、子どものイヤイヤ期に親がどう関わっていくかが大きく影響するのです。21世紀をたくましく生き抜く力を育むイヤイヤ期という新しい捉え方を提案します。

子どもが自分の人生のハンドルを握る。子育てで自分を生き直す。母親がともにつくる森のようちえんの可能性



presenter
森のようちえん まめとっこ
代表 石井千穂

だれかが用意した正解をなぞっていれば評価された時代が終わり、仲間と協力して自分たちで創る時代へ。身近な自然の力を借りて保育を行う「森のようちえん」は、大人都合の管理的な関わりを極力減らし、子どもの主体的な意欲や興味関心にもとづく遊び(=学び)をできる限り見守る場です。育まれるのは、人生を自分で切り拓いていける力。そして親自身の人間力・子育て力も育まれます。幸せな子ども・大人を増やす種まきの活動を提案します!

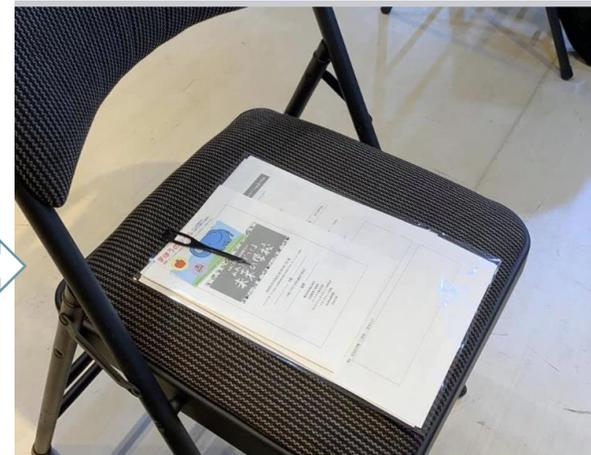
開催当日の様子(1/4)



今年のテーマは「学校・教育・授業」👨🏫
3月のテーマ決めから始まり、実行委員14名で少しずつ準備を進めてきました！



いよいよスタートです🏠🕒



ご来場の皆さまに「まほうのシール」もちろん配布させていただきました🐘🍏



お子さまと一緒に観覧できるキッズスペース👧🏠
👧



続々とご来場。ベビーカーがひしめき合う、こういった観覧型のイベントには珍しい光景です🙄



実行委員原田による開会のごあいさつ🌷

開催当日の様子(2/4)



みなさん真剣で優しい眼差しです ✨



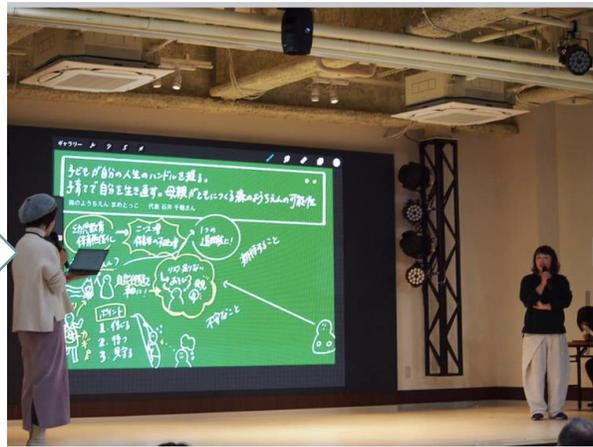
トップバッターは「2歳前後から始まるイヤイヤ期へのネガティブなイメージを新常識に」青山さん 🤔



質疑応答の時間は、観覧のお客さまにお話を伺う場面も 🎤



WEBフォームにてリアルタイムにご意見を集めました 📝



2番目は「子どもが自分の人生のハンドルを握る。子育てで自分を生き直す。母親がともしつくる森のようちえんの可能性」石井さん 🤔

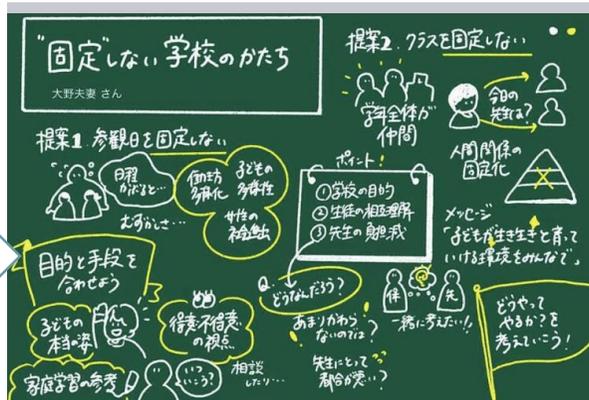


お子さまも皆、それぞれの過ごし方で、とってもいい子してくれていました 😊

開催当日の様子(3/4)



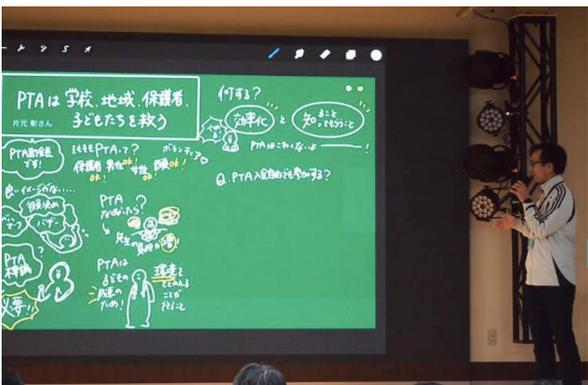
3番目は「固定しない学校のかたち」大野ご夫妻
 🙄🙄 お二人で順番に、2つの提案を投げかけてくれました。



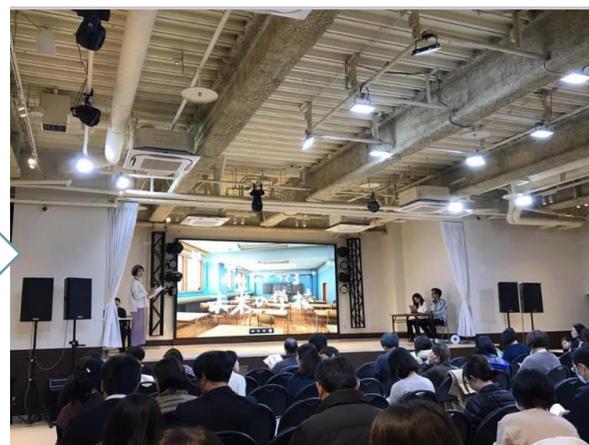
プレゼン内容・質疑応答時のやりとりを、その場でリアルタイムに可視化していく「グラフィックレコーディング」🎨



キッズスペース周辺にはあえて椅子には座らない「立ち見」のお母さんがいっぱい。肩こりと腰痛、大丈夫でしょうか🙄



ラストは「PTAは学校、地域、保護者、子どもたちを救う」片元さん🙄
 2歳→ようちえん→小学校とプレゼンが進む中、まだお子さんが小さい方は後半どうか？と少し心配でしたが、未来を想像し予備知識として積極的に捉えてくださったようでした。



前後左右で聞こえるお子さまの声をBGMに、あっという間にプレゼンター4組×20分の発表が終了しました。



最後までしっかりと聞いてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。どのような気持ちでお帰りいただけたでしょうか。少しでも心が動き、何かしらの発見や変化を感じていただけていたら、とても嬉しいです！

開催当日の様子(4/4)



実行委員青森による閉会のごあいさつ。ずっと我慢してくれていた子どもたちが、次々とステージに上がってきてくれました🤗カオス！笑
このイベントらしい、素敵な光景でした🥰



(おまけ) ステージ上からの眺め。
緊張しますよねー！こんな中、堂々と素晴らしい発表をしてくださったプレゼンターの方々には尊敬がありません。
来年はどんな会場でどんなテーマになるでしょうか！
これまでの反省を踏まえ、さらにパワーアップしていきたいと思います。

イベントの特徴

× 質疑応答

観覧者が質問しプレゼンターが答える

“逆”質疑応答

プレゼンターが質問し観覧者に答えてもらう



グラフィックレコーディング

ミーティング・イベント・トークセッションなど
対話が生まれる場を
図や言葉でリアルタイムに可視化する技術



プレゼンターの発表(10分間)と逆質疑応答(10分間)から描き出したグラフィックレコーディング

2歳前後から始まるイヤイヤ期へのネガティブなイメージと新常識に!

しあわせなおかあさん塾 塾長 青山 節美さん

Q どんな親? Q どんな大人?

なぜ? 2歳の話

21世紀の学び

知識 伝

子どもの力を引き出す姿勢

子どもが自立

イヤイヤ期

新しい学び

年齢に合った自然に育つ
幼少の良・学
大人の都合の良・答え

Q どんな子ども?

空気読める
やぶる子

意見も
言える!

育たない...

たまたま
100%の
社会に

子どもが自分の人生のハンドルを握る。子育てで自分を生き直す。母親がともしつくる森のようちえんの可能性

森のようちえん まめとっこ 代表 石井 千穂さん

幼児教育 保育無償化

ニーズ増 保育者の不足増

1つの選択肢に!

森のようちえん?

自然体験を軸に!

1つ足りない

あそび 発見

小学校への接続

座る 集まる 日程も 33人と

不安に 思うこと...

安全講習30年 死ぬな... 後継者入

ポイント

1. 信じる
2. 待つ
3. 見守る

母カギ

次は...

“固定”しない学校のかたち

大野夫妻 さん

提案2. クラスを固定しない

提案1. 参観日を固定しない

子ども 多様性

女性の 社会性

目的と手段を 合わせよう

子どもの 本音

家庭学習の参考

Q. どうなんだろう?

Q. 参観日って?

Q. どうやってやるの?を 考えよう!

ポイント!

- ① 学校の目的
- ② 生徒の相互理解
- ③ 先生の負担減

人間関係の 固定化

メッセージ

「子どもが生き生きと育つ ための環境を創りたい。」

PTAは学校、地域、保護者、子どもたちを救う

片元 彰さん

何をする?

効率化

知ること

PTAはこんなよ!

Q. PTA入会自由に参加する?

Q. PTAの問題はなぜ変わらない?

PTA副会長 です!

PTAって? ボランティア

保護者 男性OK! 女性 OK!

良イメージかな...

PTA 70代以上!

先生の負担増!

PTA 不参観?

PTAは 子どもの 環境を 成長の ための!

NEW IDEA

却下!

ここからはプレゼンター毎にご紹介いたします

- ①タイトルと発表者名
- ②当日使用したスライド
- ③逆質疑応答の質問と回答
- ④グラフィックレコーディング

Presenter No.1

2歳前後から始まるイヤイヤ期へのネガティブなイメージを新常識に！

しあわせなおかあさん塾 塾長 青山節美

1

2歳前後から始まる
イヤイヤ期へのネガティブなイメージを新常識に！

2

◇しあわせなおかあさん塾 塾長 青山 せつみ
◇宮崎出身 松江市在住
◇HUGKUMI LABO
学習塾 (進学塾・不登校・発達障害)
◇おかあさん塾 おかあさんの学び場
・2歳のお誕生日会 3歳のお誕生日会
・小学校入学までにできるようになっておきたいこと
・10歳から18歳のミニ大人のトリセツ講座

3

学校がテーマなのに

なぜいま

2歳の話をするのか

4

小学生のお子さんを持つ
保護者からの相談
ベスト3

5

宿題をしない

片づけをしない

何度いってもいうことを聞かない

6

ゴドモの異変

- ・学習コントロールができない
- ・経験が圧倒的に不足している
- ・考えない
- ・選択できない
- ・知識と経験の連動ができない
- ・正しい答えをいわなければならない

オトナ異変

- ・その年齢に達したら自然にできると思い込んでいる
- ・早く教えたらいいと思っている (早期教育)
- ・効率の良い学びを与えようとしている
- ・大人の都合のいい答えを求めがち
- ・幼児期と児童期の落差を埋めていない

7

21世紀の学力って知ってますか？

10

学び方を
イヤイヤ期に獲得している

8

基礎力

思考力

表現力

知ること

基礎的な学力

知識・技能の習得

考えること

基本は基礎的な学力
情報編集能力

何を知っているのか
判断力・表現力・
活用力

伝えあうこと

身近な人間関係の中
で人と関わったり、問
題解決したりできる
「主体性」「コミュニ
ケーション能力」を惜し
みなく発揮する力

11

イヤイヤ期の困った現象

忙しい時に限って 自分でやる
いたずらをする

汚い・危ない・うるさい・しつこい

秩序感

9

これらの芽生えは
いつからだと思いますか？

12

2歳のお誕生日会

さぁ自立の始まりだ！



13

2歳のお誕生日会の当日のながれ

10:30-11:00

はじめましてのごあいさつ
親子自己紹介

11:00-11:30

ちいさい人たちのワーク

11:30-11:40

お片付け
子どもたちが自分でお片付けします

11:40-12:00

2歳から始まる子どもの自律の話

16

ワークの様子



14

2歳のお誕生日会スタート



17

ワークの様子



15

ワークの様子



18

おかたづけ



19 2歳のお誕生日会とは

子どもが 選んで
子どもが 思うように
子どもが 自分のタイミングで
子どもが 自分なりにできる

大人が 大人の都合でやらせよう
大人が 先回りをして成長の
機会を奪わない
大人が 子どもを見ていない

目の前の子どもの中に、
答えがあることに気が付く日



これからの時代の教育は

22

子どもの自ら育つ力を
大人が観察する目をもとう
「してあげる教育」だけではなく
子どもが本来もっているものを
引き出す教育を目指したい

20

イヤイヤ期の困った行動のすべてが

子どもが自立するための方法
これからの学力を手に入れる方法

だとしたら どうしますか？

それでも、だめっていいいますか？

23

子どもが学ぶ教育

子どもから学ぶ教育

子どもが前を向ける教育

21

もし、これらを叱るなら

叱る私たちより

子どもたちの方が賢いのです

24



1.あなたはどんな親でありたいですか？

安心の基地でありたいです。
こどもとともに成長できる親。子供を支配しない。
子どもの最終砦。子どもに信頼される親
仲間（頼ることも頼られることも出来る関係）
子どもの言動をおもしろい！新しい！興味深い！と思える親
子供の心に寄り添い、愛情を伝え、見守ってる事を子供がわかってくれているような親でありたい。
また、自分自身が楽しく生きている様子を見せたい。
子どもが目をキラキラさせていること自体を見守れる親
生き生きとした親。人生を楽しむ親
待てる親
子どもの気持ちに寄り添える親
子どもと親は別物。同じ存在と感じがちだが、大人の都合に振り回さないように！という言葉が心に響いた。
子どもの意思や興味、関心、好奇心を大切にしたい。立ち止まって考える。出来なかった日も繰り返さないように振り返り心がけたい。
柔軟であり、芯のある親、子供と一緒に楽しめる親
親自体が育っていない、学んでいないとしたら、親学が必要ですね。
子供のやりたいことを見守り、サポートできる
自分らしく生きるための力を付けるためのサポート

2.どんな子供に育ててほしいと願っていますか？

自分で考えて自分で動ける子になってほしいです
自分の意思を持って、自分の意見を人に伝えることができる
自立&協調できる子ども
自分をしっかり持っている子
自分で選択して、やりたいことをやり、発信できる子。毎日を楽しみ！と思って生きる子になってほしいです。
自己肯定感の高い子供。自分に自信を持った子供。挫折しても立ち直れる子供。
空気を読めるけど破れる子になって欲しい。
厳しい世の中を自分自身の力で切り抜ける、また何か困ったときは周り（適切な相手）に「助けて」と声をあげて周りを頼ることができる子どもになって欲しいです。
自立して好きなことを見つけて欲しい
初対面の方々と仲良くできる子ども
自分が楽しいと思える人生を自ら造り出していける子ども
人に迷惑をかけないで自分のしたいことができる人
自分を正しく評価できる子ども。過大評価でもなく過小評価でもなく。自信を持って自分の能力を発揮できる。
心も体も健康
明るく前向き、どんなことにも楽しみを見つけることができる子供
自分のことが大好き、自分のことを大事にできる子になってほしい
経済的、精神的に自立して、小さなことにも笑顔になれる大人になってほしい
この世界には楽しいこと、面白い人がたくさんいると希望を持って外へ出ていける
自分の「好き」や「得意な事」を見つけて、自分に自信を持てる子になってほしい

3.あなたはどんな大人でありたいと思っていますか？

邪魔をしない。子供は本来その子らしい良さがあって、それを大切にしながら育ててほしいからです。
自分の尻でしっかり座ること(自分をそのまま認め肯定している)、その上で相手を自分とは別の存在として尊重している大人
背中で語れる大人になりたい！
人生を伸び伸びと自由に楽しんで生きる大人
子ども達の環境を整えて守ってあげたい。
チャレンジ出来る大人。
子どもの育ちを見守る。いざという時に頼りになる
子供のために考えて行動していける親、サポートしていける親、子供のために勉強する親
いつも自分にワクワクしている大人
人生を楽しむ大人。学び続ける大人。、
学び続ける、育ち続ける姿勢を忘れない

2歳前後から始まるイヤイヤ期への ネガティブなイメージを新常識に!

しあわせなおかあさん塾 塾長 青山 節美さん

Qどんな親?

Qどんな大人?

なぜ?
2さいの話



年長になったら自然にできる
効率の良い学び
大人の都合の良い答え

21世紀の学力



子どもの力を
引き出す姿勢

子どもが自立



イヤイヤ期

新しい学力



Qどんな子ども?

空気をよめる
&
やぶれる子



育てないと...



だまる人ばかりの
社会に

Presenter No.2

子どもが自分の人生のハンドルを握る。子育てで自分を生き直す。
母親がともにつくる森のようちえんの可能性

森のようちえん まめとっこ 代表 石井千穂

1



子どもが自分の人生の
ハンドルを握る。
子育てで自分を生き直す。

母親がともにつくる 森のようちえんの可能性

森のようちえん 代表
まめとっこ 石井 千穂

4

森のようちえん
まめとっこ

2011年開園

安佐南区・西区の森、畑、古民家など
共同保育...スタッフ・保護者が運営&保育
お母さんが関わることを大切に



2

幼児教育・保育無償化

- 「助かる！」一方で...
 - ニーズが掘り起こされ利用者増加
- ↓
- 保育者の負担増加
- ↓
- 子ども一人一人の発達・成長？
集団を動かす管理的なかかわり

5

主なフィールド.....広島市内中心部から車で30分ほど



百万人都市と瀬戸内海
—ひろしまの街なかから車で30分の森のようちえん

- おもなフィールド
- 1 安佐南区紙屋の森
 - 2 安佐南区山本の森・畑
 - 3 西区三滝の森
 - 4 安佐南区大塚の古民家・公園・森

3

森のようちえん

- 自然体験活動を基軸にした、
子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称
- 全国に約150園
(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟定義・調べ)
- 1950年代 デンマーク 一人のお母さん
ヨーロッパ、日本、韓国、中国...

6

まめとっこの共同保育

- 年少～年長の園児13人を
スタッフ・園児母が当番制で保育
(4～5人/日、保育スタッフ2・母当番2～3人)
- お母さん...週1日程度 保育当番、運営上の役割
- 保育日誌を毎日全員(スタッフ・母)で共有

7

信じる・待つ・見守る保育

子ども自身の興味・関心、意欲にもとづく遊びを通して

- ・見えないところで育っているものがあることを信じる
- ・子どもが子どものペースで育つのを待つ
- ・子どもの姿やさまざまな経験を見守る

10
11
12
13



8



活動の中心はおさんぽ(自由遊び)

14
15
16
17



9



18
19
20
21



22
23
24



27



25



一方、こんな姿も見られます

28

子どもにとっての森のようちえん

- リスク・足りないものだらけ
→ 遊び・発見・チャレンジの宝庫
- うまくいかない・不快な経験
→ 成功・快の経験

失敗することもあるけれど、
自分の力で楽しみを見出せる

26



29

お母さんにとっての森のようちえん

- 客観的立場のスタッフ・他の母と子どもの「今」を見守
- 育ってきた過程を追体験
つらいこともある

30

仲間とともに見つめる・向き合う



自分を癒やし自分らしい人生を生き直す



33

お母さんがともにつくるようちえん

- 「お母さん」が子育て・未来育てのカギ
- 子育てには仲間が必要

「お母さんである私」を大切に思えるようになる
保育・子育て支援が一体となったようちえん

子育ての選択肢のひとつとして存在できる世の中に

31



自分のペースで自分らしく成長していく
我が子の様子を間近で見守れたことは、
何にも代えがたい母としての喜びでした。

34

森のようちえんの未来

- 日本の森のようちえん
創設者・保育者・保護者の手づくり
- 行政が後押しする動き
鳥取県・長野県
広島県「ひろしま自然保育認証制度」(2017年～)

32



誰かに預けっぱなしではなく
「自分で育ててきたこと」で、長男との間に、
確かな信頼と根っこができていく気が
しています。だから「大丈夫。」
きっとこれからもいろいろ大変なことは
あるかもしれませんが、「大丈夫。」です。

35

森のようちえんの未来

- 自治体ネットワーク
「自然保育に対する国制度の創設および支援」を要望
- 実現すれば...!!

お母さんがともにつくる森のようちえんの可能性

1.お母さん（親）の立場から、森のようちえんにどんなことを期待しますか？

伸び伸びと。失敗もたくさんしていいので、自己決定→挑戦→学び→自己決定の繰り返しを。

自分のペースで、やりたいときにチャレンジできる環境。

冒険あそびば事業 保護者会の代表をしています。

危ない時はグッと我慢し手も口も出さないけど危険な時は速やかにストップさせてあげてください、ということを保護者さんをお願いしています。

何度か来てもらううちに、オトナ達もコドモ達もできるようになってくれます。

大人も一緒に成長できる。お母さんだけでなく、お父さんも参加して欲しい！

アイデンティティの確立された子どもに育つこと

親が育つことができる場所。親が仲間を作ることができる場所。柔軟に物事に対応できる力

1番近くで子どもの成長が見れる。親と子どもの絆ができる。自己選択できる人になれる。

あたりまえの選択肢の一つになること。子育てにとまどうお母さんの軸を育てるようなものになること。

どんな困難でも挫けない、もしくは挫けても自分の力で立ち上がれる力を養って欲しい。

自分を表現する力、

2.森のようちえんについて、不安に思うことはありますか？

ケガや迷子、遭難などのリスク

小学校につながる現状、ある程度の必要な準備としての教育体制はありますか？

災害が怖いです。

小学生を見てもじっとしない子が多く感じる 好きなことをすることは大切だけど、集団生活で困りそう

子供とかかわり続けることで子供との距離を保つのが難しくないのでしょうか？

けが。小学校の授業について行けるか。昼寝。

全くないです。期待しかないです。

ケガのケアは如何様に…

とても良いし、自分の子供もそういう中で育てたい！と思いはあります。ただ、仕事をしていると、共に作るというのが少しハードルが高いかも…

子供の成長を見れた事で母の喜びを得た。というお母さんの感想で目が潤みました。私もそう言った実感が欲しいと思いますが、子供達の未来の社会も作りたい自分の欲求があり、両立できるのが課題です。

保育資格のないママ(当番の時)は、どう子供たちに指導教育するのですか？

小学校の集団行動、勉強に馴染めますか？

子どもが自分の人生のハンドルを握る。 子育てで自分を生き直す。母親がともにつくる森のようちえんの可能性

森のようちえん まめとっこ 代表 石井 千穂さん

幼児教育
保育無償化

ニーズ増
保育者の不足増

1つの
選択肢に!

森のようちえん?

自然体験を
軸に!

1人. 足りない
あそび 親
あそび 親

小学校への接続

人との信頼



座る
集まる
日程も
きろんと

不安に
思うこと...

思うこと...

ポイント

1. 信じる
2. 待つ
3. 見守る

「か」

「は」

安全講習30年
死はは... 後遺症入



Presenter No.3

“固定”しない学校のかたち

大野夫妻

1

“固定”しない“学校のかたち

大野夫妻



2



提案1

参観日を固定しない

3



女性の社会進出
働き方の多様化
子どもの多様性

4

?参観日の目的は?

教育・文化週間

「我が国の教育・文化に関して、
広く国民の皆様に関心と理解を
深めていただくとともに、その
充実・振興を図ること」

文部科学省HPより

5

参観日の自由化

↓
子どもの本当の姿
子どもの得意・不得意の認識
家庭学習の参考

↓
保護者の理解

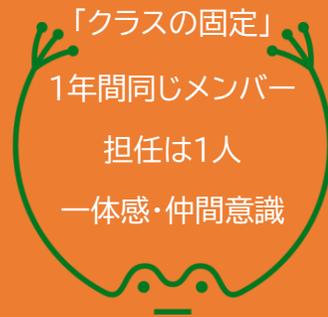
6



提案2

クラスを固定しない
～毎日が新しいクラス～

7

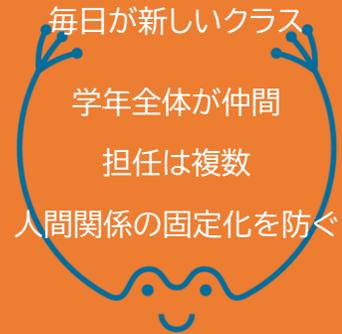


10

最後に
こどもが生き生きと育って行ける環境を
保護者・先生と一緒に作っていきたい



8



11

ご清聴ありがとうございました



9



1.プレゼンの内容を実行した場合、先生の負担は増える？減少する？

減ると思います	・参観日を選べること→親が学校に出入りする機会が増える→親、先生、こどものふれあいが増える→学級の雰囲気がいい方向にむかう→こどもにとって安心して学べる場になる
普段の様子を都合がつく日程で観れるのはいいが、防犯面で負担が増えるかも	・クラスを固定しない→こどもが学習内容、なにをするかを選べるならば→こどもにとって理想的な学びの場になる
いけると思います！幼稚園教諭時代にそのスタイルでした。特に日常以外の準備もなく負担はありませんでした。	参観日を全く固定しなければ先生の負担は増えると思いますが、参観日を増やす程度であれば、授業の質が高くなるという良さがあると思います。それは先生の負担というよりすべきことであると思います。
常にではありませんが、参観日は年に1度「学校へ行こう週間」があり、午前中好きな時に行って好きなように見て帰れる1週間があります。先生の負担の増減は変わりはないと思います。	小学生の母(主婦)です。提案2について、理想ではあるのですが、学校によっては1学年200名を越える生徒がいいます。いま教員の負担や人数が少ないことが問題視されているのを考えると1学年への先生が複数人数の難しさはないのかなと思います。また子どもは素直なのでクラスに偏りがあるのかどうか気になります。
参観日だけでなく授業をいつ見ても良い期間があります。参観日があるので、そちらの期間を利用されている方は少ないと思いますが、参観日という固定したものよりもこちらの方が主流になった方が参観しやすいかもしれませんね。	増える。クラスが自由だとみる生徒の数が増えるから。
参観日が年1ならその日は絶対に休むのに…と父子家庭のパパが言ってました。 普段の授業を見たい、に賛成します！が、学校にいつでも部外者が入れると不審者などの安全対策で、学校側の負担は増えるはずです。	増える。クラスによって進み具合が違う。仲良しばかりがつるむ
先生の負担。「負担」の意味内容が先生によって違うかもしれない…と感じる。増える/減少する は相当バラけるかも。	1つ目の提案は増える、けどその分本当の姿がみえそう。 二つ目の提案は減る！！多様な教育に対応できそう！
「参加日を固定しない」先生の負担は増えないと思う。「クラスを固定しない」は授業の進行度がクラスにより異なるので、難しいと思います。	クラスを固定しないことに関しては不安が多いです。その分考えさせられる提案だと思います。それをする場合、先生というより教育自体の考え方や学校のあり方を変える必要があると思います。
増える。でもやるだけの価値はあるとおもう。先生の負担を減らす方法も同時に考える必要がある。	賛成☆実際「参観日」と「学校へ行こう週間」の時の授業の様子が全然違うので、普段の姿が見たいと思う！
参観日非固定、賛成。負担が増えると言うより、都合が悪いと考えるかも☺️クラスを固定しない、賛成。閉鎖的な固定的な雰囲気も、先生達には都合が悪いと考えるかもです。先生には意識、変化を受容してほしい。	娘の幼稚園の保育参観は、一月通して、1日2、3人の保護者が保育参加という形で行われます。日常がじっくり見れて、そして親も楽しくてまんぞくです。小学校でも取り入れてほしい。私も保育士ですが、参観日は非日常で、やる意味は感じられません。
当初負担は増えるのかと思います。	とても楽しい学校だと思いますが、子どもによっては、「いつも同じであること」「見通しが立つこと」が大切な子もいます。
「クラスを固定しない」は難しいと思いますが、担任が複数。学年全体が仲間というのは賛成です。みんなの学校(大空小学校)のような形が理想ですね。	参観日は固定しないは賛成です！負担は変わらないはず。普段の授業を見てもらうだけなので。自由にクラス替えは先生の負担はあるような気がします。新一年生からは少し厳しいかもしれないので、例えば中学年からとかならやってみても、子供たちも色々学んだり考えたり体験できるような気がします。
・私も年子がいるので、授業を半分ずつしか見られず、校舎は走れないので競争して遠い校舎を移動するのはかなり大変なのですが、学校開放週間があるので、好きな時に行こうと思えば行ける状態です。参観日を無くしてその週間を多くしたらいいと思います。先生の負担は今より増えると思いますが、それが習慣になればいいと思います。	クラス固定しないについて：過疎地では難しい提案かと、我が子には、苦手な方々と折り合いつけながら遅く生き抜く力をそなえてもらいたいと思います。
・毎日クラス替えは小学生特に低学年はきついと思います。班替えただけでも環境の変化と捉えますし、環境の急激な変化は、発達進行系の年齢の子どもたちはすぐに影響が出て、できてたこともできなくなります。高学年からは、選択生の授業を取り入れたらメンバーは変わるかと思います。	高校ですが、講座制を採用していて、授業ごとにクラスが違いました。クラスもあって担任もいましたが、好きな先生に相談できる環境だったと思います。先生も楽しそうだったかな？小学校でも一部導入はできそう！
減る。自由な参観日はぜひ導入してほしい。こどもが通う小学校は、1日の一時間限定で、終了後、先生が日々のこども達の様子を写真などで説明します。そのような労力が減るのでいいと思います。	クラスの枠を外すと、授業進度がバラバラで難しいのでは？
自由なクラスもいいと思いました。	参観日を固定しないことは賛成！クラスの自由化は反対です。
保育士をしています。どちらの提案も私の保育園ではたような実施をしています。参観日週間、いつきてもいい。来なくてもいい。子どもたちはどの部屋で過ごしてもいい。クラスはあるけど、他のクラスにいつて過ごすのもあり。居場所だけは、把握しています。学習がないのでできますね。自分のクラス。自分の担任はわかっている、安心の場に帰っていきます。	なぜなら、先生の子どもへの関わり方が管理的である以上、クラスが自由でも大人と子供の硬直的な関わりは変わらないからです。(だからまずここ！だと思います)
「自由なクラス」学年1クラスの場合はそもそも成立しない。	もうひとつ、小2の子どもがいますが、少し過敏な傾向があり(発達障害ではありません)、クラスに慣れるのに時間はかかります。でも、慣れてから安心して自分を発揮します。つどつどメンバーや場所が変わるのは、その微妙な変化を大人以上に察知心が落ち着かない様子です。
クラス編成は、各児童の適性や割り当てが裏にあり(世話焼きの子をなるべく分散させるなど)、自由に行き来することでの弊害を考慮しないと学級崩壊を招きかねない。	子どもには多様性と自由を与えられ、発揮する場面が必要だとは思いますが、それを発揮するには環境がある程度固定していることが安心につながる子どもは割と多くいます(5人に1人とされています)
	クラスの枠を外すと、授業進度がバラバラで難しいのでは？

2.子どもがPTAの様に学校運営に関われる仕組みがあったほうが良いと思うか？その理由は？

あった方が良い。関われる場は必要だと、思うからです。有志でいいので。

自分たちの通う学校のことに関われるのなら、自分事として受け入れより主体的に関わろうとするのではないかなと思います。

自分達のは自分達で決める、運営するというのは、主体性、責任感、意見の調整などいい経験になると思う。学校に興味を持って関われるし、共働き家庭の負担軽減にも繋がる？

思う。子どもが中心の場所だから！

子どもの考えたことを大人がどれだけ受けとめられるか、が重要だと思います。

いいと思う。PTAだけでは力及ばないことに協力してほしい！

そこまで学校での子供に期待をしなくてもいいのでは？

小学生はまだ難しいのでは？

学校運営には関わる仕組みは無くてもいいと思う。大人でしかわからない事、作ってあげられる環境があると思う。子供の意見を取り入れるならば、親が子供に聞いてPTAで発言すれば良いと思う。

いいと思う。子ども達が1日のほとんどを過ごす場所だから、自分達が過ごしやすい場所になるように意見が言えるとよい。

子どもたちが学校規則など創りあげることができたら、子どもたちも意欲的に学校へいけるかなと思った。クラスを固定化しないことに関しても自由な発想が持てるのかなと思います。

ぜひ、子どもにも運営に関わって欲しい。生徒会も、結局先生が言う通りにしかならないと思うと真剣に考えない。生徒たちの提案を受けて、それを実行するか、実行できなくても必ずある程度近づけるように真剣に考える、と校長が言ったところ、生徒たちが真剣に考えた、という話を聞いたことがあります。

受け身の子どもを大人が作っているのだらうと思います。

"固定"しない学校のかたち

大野夫妻 さん

提案1. 参観日を固定しない



日程
かぶると...

お母さんは...

働き方
多様化

子どもの
多様性

女性の
社会参

目的と手段を
合わせよう

子どもの
本姿



目的
得意不得意
の視点

家庭学習の参考日

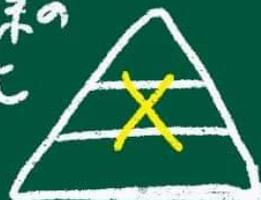
いっ
いこう?

相談
して...

提案2. クラスを固定しない



人間関係の
固定化



メッセージ
「子どもが生き生きと育て
いける環境をみんなで」

ポイント:

- ① 学校の目的
- ② 生徒の相互理解
- ③ 先生の負担減

Q. どうなんだろう?

あまりかわら
ないのは?



一緒に考えたい!

先生にとって
都合が悪い?

どうやって
やるか? を
考えよう!

Presenter No.4

PTAは学校、地域、保護者、子どもたちを救う

片元 彰

1

PTAは学校・地域・ 保護者・子どもたち を救う

2

片元 彰 (かたもと あきら) 37歳

- 広島市内小学校のPTA副会長
- NPO法人 ファザーリング・ジャパン中国 理事
ワークライフバランスコンサルタント
(専門はタスク管理、タイムマネジメント、時間管理)
広島県男女共同参画審議委員、公益財団法人ひろしまこども夢財団 評議員
広島県子ども子育て審議委員etc
- 主夫のぼぼさん (<https://popo3.jp>)
- 妻1人 (同い年)、子供2人 (10歳、8歳、いずれも男)
- 野球 → 製薬会社の営業 → うつ → 主夫 → 現在

3

そもそもPTAってなに？

- Parent (保護者)、Teacher (教職員)、Association (団体) の頭文字。
- 保護者 (男性・女性) および教職員の全員がPTA会員となりえる。
- 学校とは別の独自の組織であり、公の支配に属さず自主的に運営されるボランティアによって活動する団体。

4

バザー	強制入会
不公平感	周年行事
	ヘルマーク
	年に一度の役員決め
登校班外し	講演会への動員
会費の使われ方	個人情報問題

5



6

PTAは不要？

7

PTAがなくなったら…

例えば…

- 学校のイベントは全て先生たちで行わなければならない。
- 学校の先生の多忙問題。
- 先生の本業は？
- 子どもたちへの影響は？

10

そのために今やるべきことは？

8

PTAの目的は？

「自分」の 子どもの成長のため

→各家庭だけで十分ですか？

11

- 効率化。やったほうがいいことをやらない。
 - ✓ 文明の利器を使いましょう
 - ✓ やめる勇気
- 知ること。知ってもらうこと。
 - ✓ 目的は何なのか？

9

最終目的
「自分」の子どもの成長のため



達成のための目標
子どもの「教育環境」を考える



手段
PTA活動を通じて

12

PTAは怖くないよー

1.PTAが入会自由だとしても参加しますか？それはどうしてですか？

教育現場と接点の必要性を感じます。先生も困っていることが、多いはず。教育体制にも問題があるといます。
即答できません
動機付けが少ない
参加する。自分も子どもの育ちに関わりたい
学校を知るため
うちの小学校は、誰がPTA役員をやるのか、競争でしたよー。
いい雰囲気に参加出来るなら参加したい。親にとっても子どもにとってもプラスになることは多いと思う。
入会自由ならしなかったと思います。しなくていいなら。どうして必要かが明確になれば全員入会を決めても問題ないと思います。共働き、片親も多いので、今後はPTLAにすべきです。Lは、Local people 地域の人々。高齢者や障害者の皆さまにももっと学校に入って今のPTAの仕事をしてもらうべきです。
変わらないのは、変える方が大変で面倒だからです。パワハラがなかなかなくなるのと一緒に、私はこんなに頑張ったんだから、我慢したんだから若い人もやりなさいという意識なので、今変わっていていると思います。育休中のお父さんが赤ちゃんおんぶしてPTA役員してる方もいますから
PTAは必要だと思ってます。でもこれまでの在り方なら、入らないかなー。
PTAが要るか要らないか、ではなく、どんなPTAの在り方が必要なのか？を話し合うべきなのは？先生の負担を減らすのに、保護者は無償でその負担を引き受けるべきですか？旗振りやプール当番など、「これまでやって来た仕事ありき」ではなく、本当に必要なこと、保護者が主体的に取り組めること、をその学校学校で話し合うなら、PにもTにもCにもお互いに意味のある活動になるのではないのでしょうか？
参加します。こどもの教育環境を整えるには必要かも！？費用が安いから。
時間に余裕があれば参加したい。子供がお世話になっているので、お手伝いするべきだ
子どもの教育環境に関わりたいので、参加したい。その中で自分も人間関係の輪を広げて、成長していきたい。
はい。みんなで成長することが、結局自分の子や自分自身の成長につながるから
参加します。子どもたちと楽しいことやりたい！
参加すると思います。参加することで学校の様子を知ることができると思っているの、子どもが通う学校のこと親として知っておくべきかなと思います。
我が子、我が子の周りの子、不健全な学校のためにぜひ入りたいと思っています！
参加したいです。負のイメージはありません。学校の内部を知りやすい為
学習をするためにはまず学校の環境から。整えているのは先生やPTA役員の方など。親も環境を整えるという意味でも教育に参加することが当たり前になるといいと思います。
はい。子どもたちを地域で、大人みんなで育てるのは自分ごと。だと考えるから。
自分の子ども、周りの子どものためにも入会すると思います。PTAの効率化はその学校にあるももとの仕組みを変えるのは難しいのかなと思いました。
楽しそうな所なら参加したい
もちろん参加します。子供が通っているわけだし、親としても子供の環境を知る、子供たちの為に動く、より、学校関係者、保護者も含めてみんながより良い環境になれるように前向きに関わるのは良いと思う。
幼稚園とはちがい、関わりがなくなり学校生活の子供のコトがわからないので保護者や先生とコミュニケーションがとれるから関わっていきたい

2.これだけPTAの問題がメディアなどで報道されているにも関わらず、変わらないのはどこに原因があると思いますか？

負のイメージが(親が大変)消えない
2年間父親委員をしましたが、飲み会自費参加、やったことは去年通りの募金活動。新しい提案は全て却下。目立たず穏便に1年を終わらせることが是という体制では何も変わらない。賛同者を集めてベルマーク運動を廃止させたが結局今年また復活してしまった。正直もう関わりたくない。
保護者の無関心
慣例に沿って惰性で運営しているから。前例が無いと動かない、動きたくない教育委員会。変化を嫌う体質。変わることはエネルギーを要するので、そこまでのやる気、気力体力が無いのでは？そこまでの価値があるのか？という意見もありそう。
各学校のPTAにより温度差があると思います。健全な運営がなされるPTAも多くあると思います。
先生が多忙すぎる。前例から外れた場合の責任を誰も取りたくない。我慢すれば通りすぎるから、変更するエネルギーを費やしたくない。
PTAの必要性が伝わってきました！しかし、PTA問題を考える時間が学校現場にないから、いつまでも固定化した怖いイメージのPTAなのでは…
悪しき慣習、妙な空気の読み合い、など最初からネガティブなものに支配されているように感じます。
なるべく面倒なことには巻き込まれたくない。変革しようとする意見が合わないお母さんとの関係が悪化してしまう。お母さん同士の関係は卒業後も継続。満足してはいないが卒業までガマン。
先生達に自由度がないため。PTAが関与提案しても変わらないのでは。体制の問題。
大人がPTAの場で意見が言えない雰囲気では？組織が古いのでは。
サイレントマジョリティー
本当の部分が閉鎖的。持ち上がりのひとが多いと結局昔からの風習が引き継がれるので、毎年すべて新しい人でやればいいのか？
学校とは別の独自の組織だとしりませんでした！学校の中の組織だから変わらないと思っていたけど、もっとしっかり切り離されたら変わっていきけるのって思う！
変えて自分が責任を負うことがいや。仕事が増えるのが面倒 など。
長く継続してできる人がいないから。そのため、去年したことを流れ作業で承認するから。
他の学校の取り組み方がわからず、いいところを真似できないから。
自分の事として見て、思っていない人が多いのかな？と思います。自ら意思を持っていれば知ることも考えることも、創造することもできるけど、他人事・やらされてる感が強いのかな？
自分のこと、自分の家族の利益しか考えていないから。仕事が忙しくて余裕なく考えられないのだと思う。
教育をよくするには親の働き方も変わっていかないと、と思います。
先生も親も多忙。つながりが薄くなっているから。
変わる勇気がない。何かを変えるのは面倒、そこまでPTAに労力をかけられない。

PTAは学校・地域・保護者。 子どもたちを救う

片元 彰さん

何する？

効率化

知ること
知らないこと



PTAはこわくないよ

PTA副会長
です！

これもPTA.？ ボランティア♡
保護者 男性OK! 女性 教員OK!
OK! OK!

Q. PTA入会自由でも参加する？

良イメージかな.....

役員決め
バザー
バザー

PTA
の役割は？
先生の負担が増！

Q. PTAの問題はなぜ変わらない？



PTA
不平等
必要!!

PTAは
子どもの
成長の
ための！
環境と
このえる
ことが
たくさん

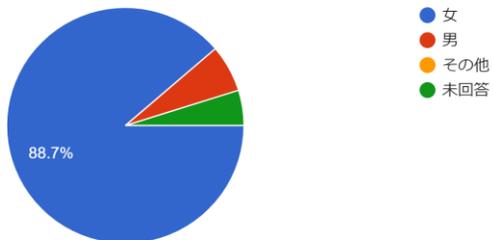
最後に・・・必見!!

来場者アンケート調査結果

来場者の属性

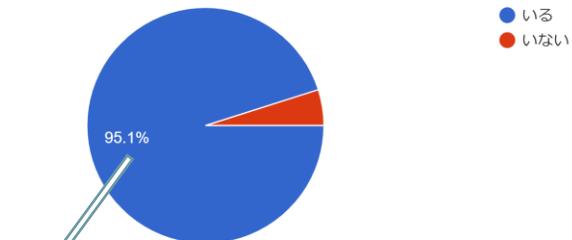
性別

62件の回答



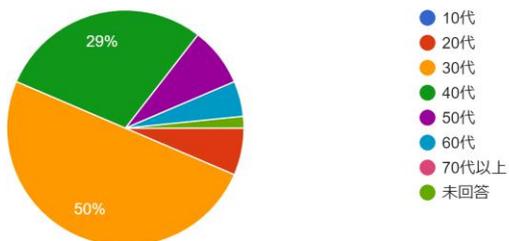
お子さま

61件の回答



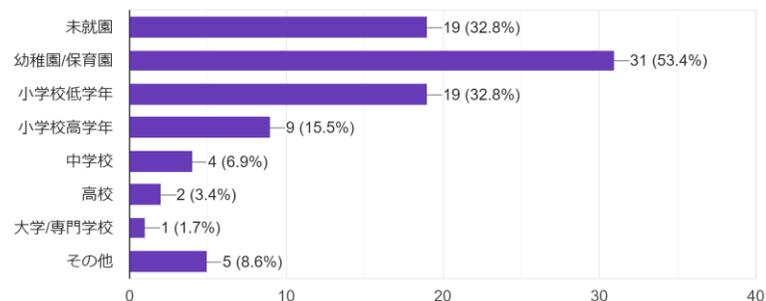
年代

62件の回答



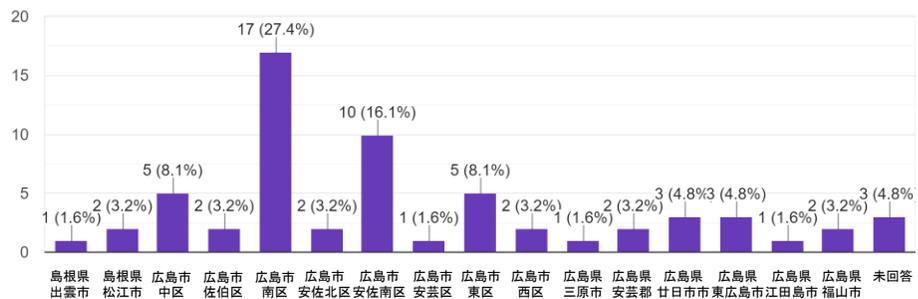
※「いる」の場合

58件の回答



お住まい

62件の回答



問:子育てに関して「もっとこうなったらいいな」「こんなのあったらいいのにな」と思うことや、子育て以外に最近気になっているテーマなど、あればお聞かせください。(1/2)

小学生の放課後の遊び場（プレーパーク的な）がもっと各地にあったらいいと思う。勉強を自主的にできるような場所も求めている。
子どもたちが自分らしく生き生き過ごせる日々がやってきますように。
子どもが自由に思う存分過ごせる、親が過干渉にならずに済む環境がもっとたくさんあったらいいなと思う。自分も積極的に関わり成長していきたい。
不登校が続いたときの相談窓口。情報が不足しており、どこに相談したらよいか分からなかった。
中学校の説明会時、事細かな校則の説明により、子どもを自立・考えて行動するようにするのではなく管理・指示に従うことに重点が置かれているように感じ、不安に思った。のびのび幼児期→ルールを学ぶ小学校→自己をなくす中学??と不安。
家族旅行で行ったフィリピンで、カルチャーショックを受けた。老若男女が子どもをあたたかい目で見、親を助けようとみんなで子育てしていこうという社会だった。最近、子育て世代はマイノリティだと感じる。多声代のコミュニケーション不足をなんとかしたい。
大人（親）がもっとゆとりとやわらかさが持てる社会。アイデアが受け入れられる風潮。保育&教育者と保護者の対談。
子連れで楽しめる飲食店がもっと増えて欲しい
「子育てが楽しい！」と楽しんでいる人の情報をもっと知りたい（「子育てしんどい」が溢れている）
「もっとこうなったらいいな」「こんなのあったらいいのにな」を意見交換できる場
ファザリングジャパンの活動に興味がある。
大きく社会を動かすには時間がかかるので、小さなムーブメントや選択肢をつくることや参加することにもっと自由度の高い社会になったらいいなと思う。
子育て・教育についてもっとオープンに語れる場やそれを実行していく場が欲しい。それぞれで取り組むのではなく、協力して1つのモデルケースをつくっていくというような広島の活動ができれば素敵だと思う。
興味開発教育の充実。本来の子どもの潜在能力を生かせる教育。
公立学校の制度・集団管理・画一的な授業の進め方を、学校現場自体もどこから変えていいの分からず途方に暮れる。新時代に対応した教育を教員自身が受けていないので、理想と現実のギャップに悩みがち。
「ワークライフバランス」が気になる
子育てしながら働きやすい社会。子どもを預けたい保育園（森のようちえんみたいな認可園希望）。
「もっとこうなったらいいな」「こんなのあったらいいのにな」はあるのに、それを実現するための道のり・ステップ・言っていくべき先が分からなくてモヤモヤする。これらを実現させていく道のりの話を聞きたい。
コミュニケーションの場。困っている人が困っていますと言える場。孤立する母親を減らしたい。
小学校以降のフリースクール（公立学校を強制しない）。自分を自由に表現できる場になって欲しい。
保育園・保育士の在り方が気になる
「大人が自分らしく生きていくためには？」を考え実現できる大人が増えると、子どもたちの環境は良くなると思う。子どもを知って、大人が変わると、社会も変わる！

問:子育てに関して「もっとこうなったらいいな」「こんなのあったらいいのにな」と思うことや、子育て以外に最近気になっているテーマなど、あればお聞かせください。(2/2)

お母さん同士が集まって情報共有できる場
母親・父親・企業・行政・地域・異世代、社会全体で子育てできる環境が欲しい。島在住だが、効率重視ではなく「島らしさ」が出せる教育をして欲しい。
大人・親の在り方、考え方が気になる。
社会や母親同士での「～でなければならない」のプレッシャーを感じる親が多いと思う。社会全体で見守り合い育ちあう仕組みが未来を明るくする。「経済優先主義」が行き過ぎているように感じる。
子育て大変だよーと言える場が欲しい。成長がゆっくりな子に対してお母さんが頑張っていないと思われるなど、親が必要以上に責められない環境になったら、もっと社会参画しやすくなると思う。
学童以外の小学生が安心して過ごせる場所。小学校に入ると学童以外の預け先がなくなるので、急に仕事が入った時に留守番させるのが心配。
子どもの遊び場（屋内・屋外）がもっと多いと嬉しい。駐車場つきで。
幼稚園・保育園までは色々な教育方針から各家庭で選べるのに、小学校に入るととたんに画一的な環境になってしまう制度を変えるべきだと思う。学校の選択肢も増やして欲しい。学区制や教員のローテーションはナンセンスでは？
子育て環境は親世代に比べると良くなっている。それに感謝できる親を増やすのも大切だと思う。感謝の心を忘れがちになると、それは子どもも同じようになると思う。
「みんな違ってみんないい」が当たり前になったらみんなが暮らしやすくなると思う。子どもたちを多角的な視点で見て、社会全体で育てていきたい。
いじめを減らす。不登校や発達障害を持つ子どもたちへ、そうでない親御さんにも興味を持っていただけると嬉しい。
「食の安全」について、子育て中に限らず知って欲しい。
もっと見守られる社会になればよいと思う。
子どもは地域・社会の宝として、みんなで見守っていくようにしたい。
子ども連れ可の場が増えて欲しい。
子どもがのびのびと育っていける環境
PTAではなく「PTLA」(L: local people)。地域の高齢者・障害者の方も一緒にできれば、お母さんの社会進出・お父さんのPTA参加率も増えると思う。
子ども自身・親自身・先生自身、みんな心おだやかに関わり合えて、自立した大人になっていける世の中になるといいなと思う。
「イェナプラン」が気になる。「教育先進国」ってどんな国？「AIにあふれた未来」ってどんな未来？
子どもだけでなく、大人も自分の自主性について考えていけたら良い。善悪ではなく「表現する・受容する・議論する」ことで大人も子どもも自らを知り、他を認め合えるのかなと思う。大人が自ら舵を切る姿勢を、子どもたちは見て学ぶと思う。
子どもたちの本来持っている力をありのまま発揮できる社会

問:自由記述欄(イベントに対するご感想・ご意見など)

幅広い視点での話が聴けたことに感謝です。来年も参加したいです！
有益な時間だった。どの話をもっと聞きたいものだった。プレゼンターの方お疲れ様でした。
プレゼンターの持ち時間をもっと増やして欲しい。学校関係者などオブザーバー的な人の意見も聞きたい。
子連れで参加しやすくてよかった。グラフィックレコーディングがよかった。
来て良かった！ぜひずっと参加したいし続けてほしい。グラフィックレコーディングも、スマホでの回答方式も、とても分かりやすくよかった。
もう少し突っ込んだ話し合いがあったらよかった。このような機会を作ること自体が、変わっていくきっかけになるのかと思う。
グラフィックレコーディングの写メを撮ればよかった
子どもたちを見守る環境下で熱い議論がされていておもしろかった。今日の内容を県教育委員会へ知らせたい。地元でも開催したい。スマホでの回答方式はナイスアイデア！
子どもを静かにさせなくてとは思わなくていいのが本当にありがたかった。
聞きやすかった。スライドをアップしてもらえたら嬉しい。司会がすごくよかった。
先生たちが参加できるよう、土日祝の開催だったらよかったのでは？
もっとディスカッションしたかった。そうでないなら一人30分くらい話を聞きたかった。
楽しかったです
とても良い刺激をいただいた。ありがとうございました。
とても勉強になったが、逆質疑応答の時間をもっと欲しかった。観覧者の意見を聞く時間の余裕が欲しい。
決められたルールに疑問を持ち「もっといいものができるのでは」と考えている大人が、こんなにも集まるのだと嬉しくなった。
地元でもこのようなイベントをしたい。もう少しゆっくりと発表を聞きたかった。
まほうのシール使ってみます！
昨年も参加したが、前回よりもブラッシュアップされ、テーマがより特化されていて分かりやすかった。我が子も次小学生になるので、自分事として聞くことができた。
色々な意見交換ができる場になるとなお良い。
自分は子どもがいないが、仕事で子どもと関わっている。親御さんの思いを知る事ができたので、仕事では関わる一人一人に寄り添っていきたい。
今日聞いた4組のプレゼンは、全部あったらいいなと思うことばかりだった。あとは大人の心意気と体力と行動力ですね！
とても胸が熱くなった。自分の学校に対する考え方をどうするべきか、改めて考えるきっかけになった。
PTAの話が、まだ先のことだが興味深かった。2歳のイヤイヤ期はタイムリーで勉強になった。
様々な立場・取り組みをされている方からのお話があり、多様な問題意識と気づきが得られた。
予想以上に参加者が多く、意識が高い方が多いことを嬉しく感じた。今日の内容をもっと多くの人に知って欲しいと思った。
自分らしく生きることができるよう、0~7歳はしっかりと遊び、小学生ではその培った心と体を使い思考力を育てるときかなと感じる。今日のプレゼンを聞いて改めて考えさせられた。
スマホでの回答方式・グラフィックレコーディングがよかった。聞きながら考えながら参加するのが苦手で、質疑応答の時間が難しかった。自分の考えを行動に移しより良くしようとしている人がいることが、未来への希望になりますね。
初めての参加だったが、こんなにたくさんのママが来られていて素敵だと思った。
とても勉強になった。
子どもに優しい空間がとてもよかった。
色々な想いを知れてよかった。
子どもの育つ環境に何かしらの疑問を持っている人はたくさんいるはずで、それぞれの分野で小さな行動・大きな事・すでに取り掛かっている人もあちこちにいます。そんな小さな力を集結することで一歩進み、一つ一つ変えていけることもあると思います。そんな場所を今日提供していただけたことで、また力をもらえました。

